

## 指定ごみ袋導入説明会議事録

### 1 日 時

令和3年1月31日（日）午後1時30分から3時まで

### 2 場 所

北部公民館 大会議室

### 3 参 加 者

#### (1) 特 別 職

井崎市長、石原副市長

#### (2) 部 局 長

大島環境部長

#### (3) 事 務 局（ク リ ー ン セ ン タ ー）

小野所長、石田副所長、金子副所長、秋元主任主査、水落主任主事、  
成嶋主事、山下事務員

### 4 来場者数

47名

### 5 質 疑 回 答

別紙のとおり

○市民

一番知りたいのは、指定ごみ袋を導入するに当たって、どうして市の方で市民にお知らせしなかったのかということです。自治会を通じてでも、回覧でも何でもいいと思います。本当に皆さん知らないと思います。確かに、パブリックコメントをやりましたが、広報に出ていると読んでいない人が大分いると思います。新聞を取っていないと広報も入りません。関心があれば、出張所辺りに行って、もらって見る人はいると思いますが。具体的な提案まではお知らせがなくてもいいと思います。ただ、こういう事情でごみ袋を導入したいということを各家庭にお知らせしてもらいたかったです。なぜそのようなことをやらないのか、質問します。

○市

昨年の9月にパブリックコメントをし、そして今回の4回の説明会、そしてこの概要あるいは質疑、ご指摘等について、ホームページあるいは広報でも、2月にまとめて、皆様にお知らせしたいと思っています。そういう意味では、「なぜ今まで」ではなくて、現在やっているところですので、これからさらに周知をして、あと自治会の皆様方からご要望がありましたので、回覧板での周知も検討しているところです。

○市民

まずそれをルールとしてやらないと駄目だと思います。

○市

流山市政のすべてのことについて、特に市民の皆様に影響のあるものについては、パブリックコメントからスタートいたします。そして、その後に、例えば、通常ですとタウンミーティングでいろいろ説明をさせていただいたり、質問をお受けしたりしています。それから、今度は、タイミングによりますけれども、広報でお知らせをしたりしていきます。そういう様々な媒体、機会を通して周知をしていくところで、現在、流山市は、この指定袋について、皆様に知っていただく形で、この説明会やお知らせを準備しているところです。

○市民

これだけ各家庭に大きな負担がかかることについて、なぜやらなかったかということを知りたいです。最初にお知らせしてから、いろいろパブリックコメントやこういった説明会などが十分にあるべきなのに、なぜまずそれを最初にやらなかったのでしょうか。

○市

流山市の場合、市民に負担を求める場合や、条例等の改正については、まずパブリックコメントで、ホームページの方に掲載をします。広報で「ホームページのどこどこにこういうものを掲載いたしました。関心のある方はお読みいただいて、ご意見をください。」とお知らせし、パブリックコメントからスタートいたします。そして、市民に説明をしたり、タウンミーティングでご質問を受けたり、いろいろやりとりがあり、ご提案をいただいたりしていきます。そして、ある程度案が固まったところ、あるいは案が決まったところで、市民の方に広報で、「こういう案で準備をしています。」とお知らせをします。パブリックコメントの前に説明をして、ご意見をいただき、その後に市民からご意見をパブリックコメントでいただくというのは、私は順序が逆だと思います。

○市民

そういうことではなくて、まず、自治会に回覧などで、袋の有料、無料に関わらず、「これから、こういったことをやりたい。」とお知らせする。そういったことをまずやってから、パブリックコメントなどのいろいろなことをやるべきではないでしょうか。

○市

ご意見分かりました。パブリックコメントというのは、本当にまだ案の案で、皆様からいろんなご意見やご指摘をいただきます。そして、そこである程度案になったところで、自治会の皆様や広報でお知らせをして、そこからまたご提案もいただきます。まだ、右にも左にもならない、どういう形になるか分からないものを、自治会の皆様にお配りしたり、広報でお知らせをするというのは、私は順序が違うというふうに考えています。

## ○市民

私は今日この会場入って、手元に何も印刷物が用意されていないことに驚きました。インターネットで見られるからいいだろうという考えは間違っていると思います。きちっと活字で見て、自分の頭で読んで理解をする、そういうことが全然この場にはないことにとても驚きました。

それが一つと、今、流山市でコロナの患者さんが増えています。感染者が、大体毎日10人から20人の間で推移しています。それで毎日10時になると、小学生の子供たちの綺麗な声で訴えてくれています。でもそのほかに何か流山市で感染対策をやっているのでしょうか。それを置いておいて、今この時期にごみの問題じゃないと思います。医療機関のせっぱ詰まった状況を置いておいて、患者さんがどんどん増えて、結局入院できなくて、自宅待機で亡くなる方が増えている。そういう状況がもしかしたら流山だってあるかもしれない。そういう状況に目をつぶって、今これを急いでやる必要はないと思います。やるのならもう少しコロナが収まってからにしてほしいと思います。何も急ぐ必要はないです。

そして以前、愛知県とどこかの市の減量作戦がととても減量になったといいますが、市長、副市長ご存知ですか。スーパーに行って夕食でも何でも買うと、買ってくるのはごみです。プラスチックのごみ、その上に蓋。野菜とか惣菜が入っているそれを3, 4品買うと瞬く間にごみになってしまいます。そういうごみを、大元で発生させておきながら、片や減量減量といっても、そんなに減量になるはずがありません。もっと根本的なごみの減量をやってください。コンビニでも最近個食で売っています。これもおいしそう、あれもおいしそうと買うと、家に帰ってきて食べたら本当にごみだらけ。

流山はいいところだから、子育てするなら流山においでと市長が一生懸命言っています。それで若い世代がどんどん入って、人口が増えてくると同時に、ごみだって増えてきます。それで、有料にするといっても、例えば、小さい赤ちゃんがいるところのおむつはどうするのか、お年寄りがいて日常的におむつを使っている家の場合はどうするのか。そういうところは、ものすごく持ち出しになります。実際値上げになってしまいます。私たちは年金生活で、もう喘ぎ喘ぎ生活しています。だからそういうところでせめて市長にお願いします。副市長にもお願いします。どうしてもこのごみをやりたかったら、コロナが落ち着くまで待つてほ

しい。何も急ぐ必要はない。その間に、もっと日本全体で、ごみの減量化、プラスチック、そういうものの減量化に力を入れるように、市長頑張ってください。

## ○市

資料の配布についてはご指摘のとおりだと思います。これをまずホームページに出すことと、それから広報で出すこと、そして、回覧でお配りすることをしてまいります。

それから、私たちの日常生活の中で、消費生活の中で、ごみが沢山出ています。海洋汚染なども含めて、日本が非常に名指しで批判されていますので、遅まきながら国もレジ袋の有料化など、こういったことを抑えていこうという方向に今動きつつあると思います。流山市が消費生活そのものについて何かする、あるいは流山市独自でというのは、ご指摘の点を解決するのは非常に難しいと思います。私は今の消費生活のあり方や、パッケージのあり方を肯定しているわけではないのですが、流山市としては、それを変えてくように国に求めていくと同時に、現状置かれている中で、先ほど冒頭の円グラフにありましたように、燃やすごみの中に容器包装プラスチック類を含めたプラスチック系が3割入っています。この3割というのは重量での3割ですので、ものすごい量のプラスチック系のごみが、燃やすごみに入っています。それを何とか、この指定袋の導入によって、燃やすごみを減らし、資源に回せるプラスチックを増やしていこうということです。

今日ここにお集まりの皆様は、かなり分別に対して取り組んでいただいていると思います。これ以上できないほどやっただいている方もいらっしゃると思います。しかし、流山市にはいろいろな方がいらっしゃいます。例えば、ほかの説明会の中では、賃貸住宅に住んでいる方に対する徹底をしてほしいというご意見もありました。賃貸住宅などを統括している不動産の協会がありますので、そのようなところからも言っていただくとか、あるいは、日本語が分からずにごみの分別を全くできていない外国人が集団で住んでいらっしゃる場所もあります。そういったところについても、松戸や柏の袋に6か国語あるいは7か国語で、ごみの種類が書かれているように、流山もそういうことをしながら、燃やすごみを減らし、リサイクルに回せるプラスチックを増やしていく。そ

して、ここに来られている方は皆さんやるだけやっていたいただいていると思いますが、やはり全市全体では、燃やすごみの中に3割も入っている実態がございいますので、これは全市の皆さんとして、今そういったことに無頓着な方も含めて、指定袋を導入することで、分かりやすくして、この目的を達成していこうという取り組みでございいます。

また、私たちの生活の中で出る容器包装プラスチックのごみ、すべてをリサイクルに回せば、これは全く違う世界になります。ですから、「プラ」と書いてあるプラスチックについては、少し汚れていてもできれば洗っていただいて、ただ、物によっては非常に洗いにくくて、ベトベトのものがございいますから、それは燃えないごみ<sup>\*</sup>の方に出していただくのですが、皆様のお気持ち、取り組みには本当に感謝いたしますが、燃やすごみの中に、容量ではなくて重量で3割プラスチックが入っているという、これが実態なので、これをやっぱり下げていく努力を全市的に取り組みたいということございいます。

(注釈)

本議事録公開時点での最新の情報は以下のとおりとなります。

※燃えないごみ→容器包装プラスチック類

#### ○市民

重さで3割プラスチックが混じっているということがどうしても信じられません。再調査をお願いしたいぐらいです。

私が一番聞きたいのは、神戸市や豊橋市で、減量化が進んだということですが、なぜ進んだのか教えてほしい。指定ごみ袋の値段をかなり高くすれば、それは減量化できると思います。そういう値段も含めて、なぜ千葉県のほかの市では、減量化の成果がはっきりしないのに、神戸市と豊橋市でごみの減量化が進んでいるのかは是非知りたいです。

私はどうしても指定ごみ袋の値段が今後上がっていくのではないかとということが心配です。今日、上げませんと言われても、将来上がるのではないかと心配が付きまといまいます。今のままでいいと思います。

#### ○市

この周辺の自治体は何十年も前に指定袋を導入しているので、電話で問い合わせをしたのですが、その頃のことですから、ちょっとというこ

とでした。直近でこの周辺で指定袋に切り換えたばかりの市町村は無かったので、神戸と豊橋を挙げさせていただきました。遠いところに何とか見つけたから発表したということではないので、そこはご理解ください。

その上で、なぜ減ったのかというご指摘です。これについては、事細かに聞き取りができたわけではないのですが、一つには、分別がしっかりすることで、本来排出されるごみがリサイクルに回ったという例はあると思います。もう一つは、指定ごみ袋を導入することで、市民の皆様と行政で、ごみについてのご案内などの対応をする中で、ごみの意識が高まったということはあると思います。神戸は30%ほど減っています。豊橋が17%減っています。この減り方は袋を導入したら自動的に減るというものではないです。今日、説明会をしているように、制度を作るに当たって、どういうふうにごみ袋を使ってほしい、こういう趣旨でやりましたということをごみにお知らせすることで、ごみについての理解が深まる、それがごみが減った成果の一つというふうを考えています。

○市

3割の話ですが、毎月ごみのピットの中から、ごみの組成分析というものをやっています。その結果として、3割のものが入っているという結果が上がってきています。

○市

ごみピットの中に投入されたごみをクレーンで無作為に引っ張り上げて、その中にどんなものが入っているかという調査を毎月行っております。そのうちの3割がプラスチック関係のごみが混ざっているということでございます。

○市民

神戸市や豊橋市ではごみの排出量が減っていますが、これは可燃ごみに限定されて減っていると見ればいいのでしょうか。

○市

これは家庭ごみ全体になりますので、燃やすごみのみではございません。

○市民

減ったものはどこにいったかということが、この説明だと分かりづらいです。

○市

容器包装プラスチックにいたり、燃やすごみの中に紙類が入っていたら、それを集団回収の方に回していただいたりという皆様の努力で減っています。

○市民

資料として、こういったごみかというのを分かりやすくしていただければ、多分皆さんが見たときに、こういう部分が減ったなとか、そういうところが分かりやすいと思います。

先ほど話が出たように、物を買えば買うほど、とにかくプラスチックがたまってしょうがないです。ですから袋が有料になると、プラスチックを小さく切っかきばらなくする。そうすると一つの袋にいっぱい入ります。そういうことをやった場合に、リサイクルできるのかどうか、お聞かせください。

○市

普段からそのようなご協力をしていただいているようで、ありがとうございます。圧縮してその後PPバンドという1センチぐらいのバンドで巻くのですが、あまり細かすぎると、確かにこぼれてしまいます。今後ホームページ等で、量を減らすための工夫などを皆さんにお知らせする予定ですが、例えばコンビニなどで買ったお弁当の蓋の四隅を切ると、真っ平になります。そうすると空間が少なくなります。また、細く短冊みたいに切るという工夫もされているみたいです。市民の方にもいろいろと提案していただいて、そういったものをホームページに掲載したり、まだ計画段階ですが、動画も広報としての効果が大変大きいので、そういったものをホームページに掲載できたらと思っております。また、広



報等や自治会さんの回覧文書でも、お知らせしていきたいと思っております。

#### ○市

前の質問とも関連があるので補足させていただきますと、買ってくる物はごみだらけだというのは、ご指摘のとおりだと思います。これをどうしていくか、私どもから、国、県、業界団体に呼びかける等もありますが、消費者の皆様の方の行動で、少しでも包装の簡易なものの方が売れるというような意識が醸成されてくれば、企業も動くということもございまして、相互作用だと思いますので、私どもは市民の皆様にご協力をお願いして、行政として、市、県、国、業界に簡易包装、ごみの減量化について、訴えかけていきたいと考えております。

#### ○市民

今日の説明で、ごみ全体が増えているということでしたが、我々が知りたいのは、ごみ全体が増えているということではありません。以前このような提案があったとき、確か2009年だったと思いますが、そのときは我々が十分検討する時間もありました。自治会で何度も人が集まって、5回か6回はみんなで議論しました。今回もそういう過程を当然踏むべきだと思っています。今燃やすごみはどのように推移しているのか、プラスチックごみはどのように推移しているのか、その他のごみはどうなっているのかというデータも手元にない。我々が受ける印象は、指定ごみ袋を導入するという結論が先に出ている気がします。私は十分住民の知恵も出したいと思っています。

今は指定袋を安く導入できるかもしれませんが、しかし、そういうごみ袋を提供する業者は一社か二社だと思います。いわば独占か寡占になるわけです。何年か経って、その企業が、人件費が増えました、製造原価が増えました、だから値上げしますとなったときに、我々住民としてはそれを買いませんとは言えないわけです。今は、多数の会社がごみ袋を製造しているから競争原理が働き、その中で、これだったらいいだろうと思う物を選ぶ権利があるわけです。今度は選べない。しかも生活必需品です。買わなくて済む物だったら我々もそんなに神経をとがらせる必要はないのですが、生活に困っている人もそうでない人も、全部強制的

に買わざるをえないということです。今の経済情勢を見ると、一般的な市民の受けとめ方は、負担が増えることはとにかくやめてもらいたいという気持ちだと思います。人口増があれば、市民税や固定資産税も増えるわけです。一方では行政のコストが増える。幼稚園も増やさなくてはいけないし、ごみ処理の費用も増える。けれど、それは収入増があって十分賄えるという考えで、人口増の施策をとられたのです。その中で、一部分、とても大事な部分だけクローズアップして、その部分は悪いけれども住民に負担してくださいと言われていたような気がします。私が釈然としないのは、人口が増えれば、当然それに伴う行政コストも増えてくる。だから、それに対してもっと丁寧に市として対応してもらいたい。仮にそのような値上げというか、負担増の提案があるのであれば、もっと時間をかけて、こういうデータがある、こういう状況があると。私がインターネットで調べてみたところ、例えばこの首都圏であれば藤沢市のような、家庭からの生ごみを減らして、生ごみをゼロにしようという運動をやっている市だってあるわけです。市はそれに資金をある程度出して、市民に協力を呼びかけて、いろいろなケースがあると思います。もっと研究する余地があると私は思います。例えば、水切りをもっとしっかりやれるような簡単な器具があれば、生ごみも随分減るわけですから、水をさらに重油で燃やすよりは、もっと安く上がるわけです。

そのような知恵を市民から吸い上げるためには、もっと住民に問題点を明らかにして、燃えるごみがどれだけ増えたのか、プラごみがどれだけ増えたのか、そのデータを見て考えられるものを出してほしいです。我々もそれに対してこういう案もあるよと。そういう中で、市はどれをとるのかというような形をするべきだと思います。

今はコロナで自治会の会合自体自粛しています。私は、私の意見が絶対正しいとは思いませんが、以前は30人から50人ぐらいの住民が5回か6回集まりました。そのような丁寧な対応をしてから、仮にその中で万策尽きて、これをやろうとなったらそれは理解できなくもないです。そのような過程を全部省いて、いきなりくるので皆さんイライラするし、これでいいのかなと思うと思います。

## ○市

貴重なご意見ありがとうございました。他の地区ですと苦情等もある

のですが、特に江戸川西自治会さんはほとんど苦情等もなく、ごみについては意識の高い地区だと思います。貴重なご意見として、今後、研究、検討をしていきたいと思っています。

#### ○市民

私は指定袋に賛成です。昨年から当自治会では、他市からのごみがかなり入ってきています。写真を事前に事務局に渡してありますので、映していただけますでしょうか。昨年から他市のごみがすごく搬入されています。初めは地元の住人かと思っていましたが、いろいろ見たところ野田市の方でした。クリーンセンターと生活安全課に相談に行きました。日本の法律で難しいと思うのは、ごみ集積所に出す場合は不法投棄にならず、モラルの問題だということです。公園や道路脇に出した場合は不法投棄になるという見解です。対策をどうしたらいいかと思い、地元自治会でいろいろな手を打ちました。コロナで当番の方がごみに触ることができないです。これがもし指定袋になった場合は、流山の指定袋を買ってまで出す人はいないと思います。

他の自治会さんも調べましたら、野田市のごみもあるし、松戸市からのごみも搬入されています。これは野田市のごみです。野田市は名前を書くようになっていきます。石原副市長は野田だから分かると思います。中には市長の名前を書く人もいると聞いています。

これはよその自治会なのですが、このピンクの色の袋は柏市のごみが流山市に捨てられています。これは柏市の指定ごみ袋なので柏市のごみだと分かりました。私はこういう指定袋も必要ではないかなと思っています。

それともう一つ、当自治会では環境美化推進委員会を作って、集積所のごみ当番を作っています。そうすることによって、自治会の住民の方が意識をもって、ごみの減量などいろいろなことに取り組んでいます。

この集積所は道路側にあったのですが、クリーンセンターや警察で相談したところ、もう街道沿いは無理だということで、民地を借りて、自治会で管理しています。ここにしてから不法搬入は無くなりました。私はこういう制度を取り入れるためには、指定袋が必要ではないかと思っています。

うちの自治会は事前にケロクルミーティング（市職員によるごみ出前

講座)もやって、その時の説明では、ほとんど異議はなかったです。私は、一日も早く導入をお願いしたいと思っています。

#### ○市民

指定ごみ袋の導入による四つの効果の説明がありましたが、ごみの減量が、指定ごみ袋を入れたことによる効果に直結しているという理由が全然分かりません。深掘りが随分足りないと思います。神戸市と豊橋市で、指定ごみ袋入れた後にごみが減ったとありましたが、それは本当に指定袋の効果なののでしょうか。そのほかの条件は全く同じで、ごみ袋を入れたという条件だけが違うのでしょうか。これが本当にごみ袋の導入による効果だということが、きちっと説明していただけると、確かにそうですねと言えるのですが、今のままでは首かしげるばかりです。

#### ○市

ごみ袋だけでぐっと減るということではないと思います。二市についても、お話を聞いたところ、ごみ袋導入に当たって、住民の方にごみの出し方の説明を繰り返し、並行してごみを理解していただくための努力をしていますので、そういう意味で言うと、ごみ袋だけではないです。ごみ袋を導入するに当たって、今日の説明会もそうですし、これから広報、インターネット、それから回覧を使って、皆様にごみのことをご説明申し上げていきますけれども、そういった市の努力と、ごみ袋という道具、その両方兼ね合いで、ごみの意識が高まって、結果的にごみが減る、こういった成果があると理解しています。

#### ○市民

本日の説明会の後のスケジュールですが、審議会の議事録を見ますと、議会への報告とあります。そうするともう既定のことであって、議会にかけて審議することはないのでしょうか。

パブリックコメントを全部読んだのですが、他の自治体にリサーチしたとか、シミュレーションしたとか、そういうことがうかがえるような回答がありませんでした。しかも、意見の要旨というのがありますが、それは市の回答に沿うような要旨になっています。

何か政策を立案する際には、最低限、他の自治体の研究や実施例、シ

ミュレーションなど、科学的な検証が必要ではないでしょうか。審議会の答申を見ても、それほど具体的な資料が無いにも関わらず、審議会はOKをしています。順番として、都市での政策提案にはなっていないと感じます。今日、かなり詳細なデータに基づく説明があったので、大体分かりました。効果の一番目は分かります。

有料化ではないとのことですが、負担を追加するのですから、これは有料化と同じだと思います。野田は有料化していますが、かなり経済弱者とか、要介護者とか、いろいろな人達に対する追加資金をしながら、実施をしています。ですから、随分違うと思います。「母になるなら流山」というのであれば、例えば、そのようなところに関しては勘案するなど、他市にない流山市の特徴を持たないといけないと思います。グリーンニューディールやごみゼロ、脱プラ、CO2 ですとか、そういう視点は少し入っていますが、井崎市長が掲げる政策としては劣ると感じます。

#### ○市

野田市の場合は基本的な人数設定をして、そこまでは無料でそれを超えた場合に 170 円という高い袋を買っていただく、そのことによって、ごみを減らすという、これを法令的には有料化と言っています。私どもはそういうことではなく、レジ袋を使っていたものを、レジ袋が有料化された機会に指定袋にということ、どこが違うかといいますと、市販で売っている袋に印刷がされているかどうかだけ違います。その印刷費の分だけ、ご負担をいただいて、ごみの減量化に協力してもらいたというのが趣旨です。その際に、弱者である、例えば、おむつをたくさん使う高齢者を抱える世帯ですとか、赤ちゃんが小さくてたくさん使う世帯については、個別に別の政策で考えたいと思っています。決して一律的な負担を求めるということではありませんので、そこはご理解をいただきたいと思います。

#### ○市民

最初に議事の運営の仕方として疑問に思ったのは、資料がないということです。これは本当にびっくりしました。普通の会議のあり方としては、常識外れだと思います。

それから最初に、質問は一つだけと言われましたが、皆さん疑問がい

っぱいあるから来ているのだと思います。長々と話すのは困るというのは分かりますが、少しおかしいと思います。

まず、本当の目的が分からないです。今やらなければいけないという目的が分かりません。パブリックコメントは、もうこれは決まっていることだと皆さん理解していると思います。先ほどの話では、これは最初の最初で、提案がまだ決まってないから、パブリックコメントで意見を聞くとおっしゃいましたが、皆さんの理解とは、まるっきり違うと思います。しかも実際に議会では議論はされているようですが、審議ではなくて、もう決まっているのだなというふうになってしまいます。ですから手続的にも、私はちょっと理解できません。

それで、燃えるごみの中に3割プラごみが入っているとおっしゃったのですが、分別してもごみはごみで、減るわけではないと思います。私は二回ほど見学させていただきました。汚れているようなものは駄目だということで、結局燃やしているのではないのでしょうか。分別して再利用できるようにするためには、ちゃんと洗って、ペットボトルなら蓋とラベルは別にしてというようなことをやらないと駄目です。

指定ごみ袋の導入でお金がかかるということが中心になっていますが、一番大変なのは分別です。分別の仕方も分からないし、分けるときにはどこまでゆすいで汚れをとって、あるいはラベルが貼ってある商品からラベルを剥がさなければいけないのか、プラスチックについている紙のラベルを剥がさなければいけないのか、銀紙とプラスチックが一緒になっているものは剥がさなければいけないのか、酒パックのアルミも本当は剥がして分別しなければいけないのだろう。そういうことをどこまで丁寧にやらなければいけないのか、それが大変です。自治会で集まったときに、ごみを持って帰るようにしましたが、分別するのは大変でした。家庭でも一番の問題は分別の仕方が分からないことと、どこまでやるのかということ。実際にやるとかなりの手間ですし、困難です。油だらけのものをどこまでやればいいのか。先ほど燃えないごみの方にとおっしゃっていましたが、私はむしろ燃えるごみの方に入れた方が合理的だと思います。燃料が足りなくて、時々プラスチックも入れているだろうし、重油をたいて、炉をやっているということを考えると、そういう疑問が起こらないように、きちっと説明して、納得できるような段階でなら、我々も協力します。あまりにも説明が分からない。ごみの減量だとい

ながら、実際には減量になるのかどうかも分からない。レジ袋が有料化された機会にやってしまう、ごっちゃにしているというふうにしか思いません。そこはきちんと分けて、皆さんが納得するような説明会を何度も行って、それで皆さんが協力するような形で進めていただきたい。

#### ○市

今はインターネットでも簡単に買い物できる時代で、ごみはかなり多様化しております。先ほど言われたとおり、油がいっぱい付いていて、どこまで落とせばいいのか。「家庭ごみの正しい分け方・出し方」というパンフレットも出しているのですが、すべてを網羅することはできません。今後、そういったことも事細かく、皆様からの情報もいただきつつ、誰でも分かるようなものを作っていきたいと思います。

汚れているプラは燃やすごみの方に入れた方がいいというご意見もありました。確かにそれを考えた時期もありました。今日来られている方は意識が高いので、そういったことを踏まえて考えて出してくれる方だと思うのですが、そうでない方、普段から適当に出されている方だと、何でも燃やすごみ入れてしまう、それを危惧しています。東京都はサーマルリサイクルといって、プラごみも燃やして熱を回収して発電したりしています。流山市は、大量廃棄からの脱却、要は、環境にやさしいということを目指しているのです、なるべく資源化できるものは資源化をする。燃やすごみの中の3割がプラスチックごみ、さらにその中にある容器包装プラスチック類を容器包装の方に出していただければ、それを製造している企業が、再生に関わる処理費を負担してくれまして、それを民間のところでリサイクルしています。ですから、皆さんの家庭から出たものはごみでカウントしていますが、皆さんが分別して出したプラマークの付いているプラスチック類は、すべてではないのですが、資源化しています。そういったものを少しでも増やしていきたいと考えております。ですから今後、ごみの出し方については、皆さんに分かりやすいものを作っていきたいと考えております。

#### ○市民

袋は導入しないで、市民にもう少し、「ごみを分けてきちっと出そう、減量しよう。」ということを広報する。「人口が増えてごみが多くなって

いるので、もっと分けてね。」など、そのような活動を皆で徹底する。そして1年ぐらい待って成果を出して、どうだったのかということ、是非やってほしいと思います。資料も少なく、私もそうですが、今の説明で初めて分かる人もいると思うので、是非この計画をストップしてほしいと思います。市民全員がそのようなことをやれば、全国でも初めてぐらいに、すごい大きな成果が出ると思います。

市長さんをお願いします。国も関わる大企業の販売の仕方などについては、まだ非常に難しいので、まずここでやるとおっしゃっていましたが、今はコロナで皆さんお金が無くて、仕事も無くなっている人がたくさんいると思うので、この計画はちょっとストップするというご願ひしたいと思います。

#### ○市

この説明会において出されたご意見の非常に大事な部分が、やはり皆さんに納得していただける、理解していただけるというところだと思いますので、そこについては再整理をして、検討していきたいと思います。ただ、今の時点で、延期をするとか、そういうことは申し上げられませんが、皆さんにより納得のいく、分かりやすい説明をきちんとすることが大事だと思いますので、その点については再検討いたします。

#### ○市民

私がずっと分からないのは、なぜ袋を統一すると正しく分別されるようになるのかということです。袋に、「燃やすごみ」とか「プラごみ」と書いてあることによって、効果が得られるという意味なのでしょうか。

もう一つは、燃やすごみのうち3割が正しくないごみ、つまりプラスチックが入っているというお話ですが、それは例えばごみ袋の統一をやって何十年も経っている近隣のほかの市に比べて多いのでしょうか。つまり、袋を統一すれば改善されるというデータがあるのでしょうか。

#### ○市

外国の方で分からなくて出される方、転入されて分からない方、分かっているけど正しく出さない方、に分けられると思いますが、袋を統一することによって、出しに行ったときに、「この袋は違うのではないか」



と、問いかけられるという利点もあると思います。実際にそれですべてできるわけではないのですが、第一歩として、指定袋を導入することによって、少しでも間違っただごみの出し方をされずに、実際にごみ集積所の管理されている使用者である皆さんの負担が減るのではないかと考えています。

燃やすごみの中のプラスチックにつきましては、今のところ他市の数値的なデータはございませんので回答できませんが、流山市においては先ほどもご説明したとおり、プラごみをプラの方に出していただくことによって、燃やすごみはもちろん減りますし、さらに、容器包装プラスチックとして資源化できる量も、増えるというふうに考えております。